

企業のプレスリリース情報を用いたイノベーションの価値の測定¹

池内健太（経済産業研究所、科学技術・学術政策研究所）

鈴木慶彦（東京大学）

原泰史（政策研究大学院大学、科学技術・学術政策研究所）

要旨

本研究では、日々公表されるプレスリリース情報を用いて、企業によって生み出されたイノベーションの市場価値を測定し、市場価値の高いイノベーションを生み出す企業特性を明らかにする。分析に用いたデータは2003年から2014年までに「日経プレスリリース」（日本経済新聞社）のWebサイトに掲載された全てのプレスリリースの各記事を上場企業の日次の株価データに接続したデータセットである。プレスリリースのタイトル及び本文のテキスト情報に基づいて、企業のイノベーション活動に関する記事を抽出し、イベントスタディの分析方法を用いて、各プレスリリースが企業の株価に与えた効果（累積アブノーマルリターン）を推定し、市場価値の高いプレスリリースの特徴を分析した。暫定的な分析結果によれば、販売先の拡大、他の組織への特許などのライセンスの授受、新しい契約の締結や合併・買収といった他企業との新しい関係に関わるような組織イノベーションに関連するプレスリリースやプロセスイノベーションに関するプレスリリースは株式市場からの評価が平均的に高く、株価に対する統計的に有意な正の効果が検出された。一方、プレスリリースの多くを占める新しい製品・サービスの発売や既存の製品・サービスの改善・改良といったプロダクトイノベーションの市場価値は分散が大きく、株価に与える平均的な影響は統計的に有意ではなかった。これらの結果は、組織イノベーションやプロセスイノベーションの価値の測定におけるプレスリリース情報の有効性を示している一方、プロダクトイノベーションの価値の測定にプレスリリース情報を用いるためには記事のテキスト情報をより詳細に分析する必要があることを示していると考えられる。

キーワード：イノベーション、プレスリリース、企業価値、株価、イベントスタディ

JELコード：

¹ 本研究は政策研究大学院大学科学技術イノベーション政策研究センター（GRPIS/SciREXセンター）と文部科学省科学技術・学術政策研究所（NISTEP）が文部科学省「科学技術イノベーション政策における政策のための科学（SciREX）」事業の一環として行った共同研究プロジェクトの成果の一部である。